

平成 15 年度 社団法人 音楽電子事業協会 事業報告

(理事会、運営委員会、プロジェクト MIDI20)

(平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会の開催

1. 平成 15 年 5 月 13 日 (平成 15 年度 第 1 回理事会)
 - 社団法人音楽電子事業協会「第 7 回通常総会議案書」の承認
 - 平成 14 年度 収支決算及び監査報告の審議、承認
 - 平成 15 年度 収支予算修正案の審議、承認
 - 社団法人音楽電子事業協会の平成 15 年度 新任理事案 (4 名) の承認
 - 平成 15 年度 専門委員会委員長及び事務局体制の承認
 - 新入会員の承認 (株式会社ダウンゴ)
 - MIDI 規格誕生 20 年記念パーティにて感謝状、表彰状を 4 氏に贈る事の承認
2. 平成 16 年 3 月 23 日 (平成 15 年度 第 2 回理事会)
 - 平成 15 年度 収支決算見込案及び平成 15 年度事業報告案の審議
 - 平成 16 年度 事業計画案及び事業予算案の審議
 - 平成 16 年度 新役員案の審議
 - 第 8 回通常総会、開催および付議事項の承認
3. 書面審議
 - 5 月 29 日 株式会社コンポジットの入会が審議・承認された。
 - 8 月 21 日 ダイキサウンド株式会社との間の「業務用通信カラオケによる管理著作物の利用に関する合意書案」が審議・承認された。
 - 8 月 29 日 株式会社ハドソンの入会が審議・承認された。
 - 11 月 17 日 株式会社フォーサイド・ドット・コムの入会が審議・承認された。

(2) 運営委員会の開催

1. 平成 15 年度第 1 回運営委員会開催 (平成 16 年 2 月 19 日)
 - 平成 15 年度の事業報告案 (MIDI 規格誕生 20 年事業及び委員会別) が各委員会より報告され、検討された。
 - 平成 15 年度収支決算 着地見込み案を事務局より提案され、検討された。
 - 平成 16 年度の各委員会での事業計画案がそれぞれの委員会より提案され、検討された。
 - 上記の各委員会事業計画案に基づき、事務局にて平成 16 年度収支予算案が作成され、検討された。以後この予算案は理事会・総会に提案され、審議を乞う事になった。
 - 平成 16 年度理事会、総会の予定が報告された。
 - 平成 16 年度新事務局体制が提案され検討承認された。

(3) MIDI 規格誕生 20 年記念事業 (Project MIDI20 : リーダー佐々木隆一氏)

1. MIDI 誕生 20 年記念パーティ

- 過去、現在、未来の MIDI に関係する方々 (経済産業省、文化庁、米国 MMA 会長、全国楽器協会、全国楽器小売商組合等々) 230 名強の参加を得て、平成 15 年 5 月 13 日 18:時よりメトロポリタンエドモントホテルにて開催した。
2,775 千円 (予算 2,000 千円 約 800 千円オーバー)
- MIDI 規格誕生 20 年記念 AMEI NEWS 特別号を 7 月 18 日に発刊した。
700 千円 (通常号 400 千円)
- MIDI 規格誕生 20 年記念ロゴを公募、各種印刷物に活用した。

2. MIDI シンポジウム (Project MIDI 20 : リーダー平野勝彦氏、古川一夫氏)

- 平成 15 年 7 月 3 日 13:00 ~ 18:10 京王プラザホテル エミネンスホールにて開催した。
204 名の視聴者参加を得た。
- 後援 : 経済産業省、文化庁、日本経済新聞社、日本音楽著作権協会、全国楽器協会、NMRC
- 1 部 : MIDI、スタンダード化のもたらしたもの (梯郁太郎氏)
2 部 : 楽器、シンセサイザー分野での現状 (青木栄一郎氏)
玩具市場における MIDI の役割 (中荒井浩氏)
カーライフと音楽、そしてナビライフ (三好忠広氏)
- 3 部 MIDI、メディアアートでの展開 (岩井俊雄氏)
- 収支 : 収入 1,070 千円 支出 2,250 千円 収支 1,180 千円

3. 楽器フェアに AMEI 出展

- 平成 15 年 10 月 23 日より 26 日 パシフィコ横浜(コンシューマー約 92,000 人の入場者)
「Macintosh MIDI & Audio Solution」(アップルコンピュータ社後援)と「MIDI Museum」(JSPA 後援)の 2 つのコーナーを設置し、デモを展開した。(事業委員会)
アップル社 5,500 千円 AMEI3,350 千円 出展社 9 社 2,950 千円 合計 11,800 千円
- 「MIDI User's Handbook」を作成した。(5,000 部、600 千円)(MIDI 規格委員会)
楽器フェア会場にてコンシューマーに配布するとともに、「キーボードマガジン 11 月号」
(9 月発売)の付録として約 20,000 部に添付した。

平成 15 年度 社団法人 音楽電子事業協会 事業報告

(専門委員会)

(平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで)

(4) ハードウェア委員会

1. 全体会議 (環境問題、安全規格の両部会合同 12/5)
 - 次年度の事業計画に対する意見交換
委員会名称に関する件、文書管理ルール、来期合同イベントの開催等
2. 正副委員長・部会長会議 (9/18、2/14)
 - 当期事業報告案、次期事業計画の審議、承認。
 - 16 年度、安全・環境合同イベント (事業説明会) の開催を決定。
 - 家電製品 PL センターの退会と今後の P L に関する方針検討。
3. 安全・環境合同セミナーの実施 (7/17)
 - 中国ビジネスと安全認証、
 - EC 指令 WEEE & RoHS について
4. イミュニティー共同実験
 - 各社のイミュニティー試験についての実態把握のために、共同実験実施。
5. 安全規格部会
 - 年 6 回の部会を開催
 - 音楽電子機器の安全性の電取自主依頼試験を 3 件実施。実施要綱の見直しを実施、4 月より改訂版に準じて運用予定。
 - JEITA マルチメディア WG に参画して、CISPR の新国際規格の日本案に楽器に関する試験条件の規格案を提案、日本案に盛り込まれた。イミュニティー共同実験を実施。
 - 「電気用品の雑音の強さの測定法」の改訂に参画、楽器関連事項を盛り込んだ。
 - 安全規格関連の規格調査と変動状況把握及び会員への情報提供
中国 CCC 認証強制日の延期、LVD の改訂状況、UL469,813 の有効期限延長
国内の性能規定化動向把握、UL, CSA, EN の変更状況、電安法の対象非対象の取り扱い
 - 外部委員会及び外部団体の協議会へ出席、意見の提出
第 108 委員会、電気用品調査委員会、CISPR 国内答申 WG、電波雑音専門部会、CISPR/ I 対応検討会
 - EMC
 - 各国規制の変動把握と会員への情報提供
 - AMEI 技術規格 EMC-01 の制定に着手

6. 環境問題研究部会

- 年5回の部会を開催、国内外の環境に関する法・規制の勉強と情報交換
- 容器包装関連リサイクル法、家電リサイクル法、資源有効利用促進法、地球温暖化問題関連・省エネルギー関連、製品アセスメント関連、廃棄物処理法、環境 JIS 関連、定量的環境情報ラベル/JEMAI プログラム（以上日本）
欧州の EC 指令、国内法等：WEEE & RoHS、EUP、電池科学物質関連
- 容器包装リサイクル法への対応、及び識別表示の対応について、電子楽器関連会員会社へアンケートを実施した。
- 勉強会の実施（9/7）
EC・WEEE&ROHS 指令案の動向、日本機械輸出組合 衣笠和郎氏の講演会
 - 正式告示・発効された両指令の具体定内容と対応について。
 - 10社33名の参加。

(5) MIDI 規格委員会

1. 幹事会を6回開催（隔月）
 - MIDI に関わる主要課題の検討審議
2. MIDI20周年記念MIDIハンドブックの作成
 - 楽器フェアにて各社のブースで配布
 - リットーミュージック「キーボードマガジン」9月発売 11月号の付録として配布。当期事業報告案、次期事業計画の審議、承認。
3. MIDI20周年記念最新MIDI規格書の作成
 - CD-ROMによる作成を予定、未完成なれど現在進行中
4. MMA とのコミュニケーション強化、検討事項のスピードアップ
 - 検討課題のスピードアップのため、MMA/AMEI ミーティングジャパンの実施。
 - MMA 総会への参加、AMEI 活動全体のプレゼン実施、検定制度に高い注目。
5. MIDI の他業種への採用を積極的に提案
 - DLS (ダウンローダブルサウンド) for モバイル
 - XMF for モバイル
6. NAMM ビジネスツアーの実施
 - 平成16年1月14日~20日 9社15名

(6) 著作権・ソフト委員会

12回の定例会又は合同部会を開催した。

5回のカラオケ部会、6回のソフト規格部会(DMN・WG)を開催した。

1. NMRC ネットワーク音楽著作権問題協議会 活動を通じ音事協・音制連との対応協議
(7月17日に別組織「音楽関連モバイルコンテンツ事業者協会」AMCPが発足、それ以降AMCPにて音事協・音制連との協議対応)
2. NMRC 活動を通じインタラクティブ配信に関わる諸問題をJASRACと協議
 - 映像を伴う音楽配信使用料
 - ストリーミング使用料の他3管理事業分の減額措置
 - 着信メロディの使用料体系の見直し要求。
 - 新しい形の着信メロディへの対応協議 等
3. NMRC 活動を通じJASRAC外3管理事業者との協議
 - ストリーミング使用料の按分方式の協議、暫定合意
 - その他
4. カラオケ部会
 - (株)アジア著作権協会との協議
 - (株)ダイキサウンドとの「業務用通信カラオケの管理著作物の利用に関する」合意が出来た。
 - JASRACの著作権使用料規定の見直しを要請
 - JASRAC14節問題の協議
 - 管理事業者との協議について、文化庁への指導要請を行った。
5. ソフト規格部会
譜面や歌詞など視覚的表示を伴うMIDIデータのインタラクティブ配信における著作物使用に関する現状調査、研究、及びJASRACとの意見交換。

平成15年度 著作権定例会 実施内容

日時	主たるテーマ	部会・セミナー
4月10日 (1:30~3:00)	1. 音事協・音制連との協議 2. JASRACとの協議 ・ストリーミング按分 ・シンクロ	
5月8日 (1:30~3:00)	1. JASRACよりの手紙(1部の曲着信メロディーへの使用削除)について 2. 音事協・音制連との協議経過 3. 特定ゲームに用いる音楽配信の扱い 4. 管理事業者への実績報告フォーム	● ヤマハ音声合成ソフトウェア(VOCALOID)の解説とデモ
5月15日 (1:30~5:00)	1. 音事協・音制連との協議経過報告と今後の対応	● 臨時カラオケ、インターネットモバイル合同部会

6月12日 (1:30~15:00)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストリーム使用料の管理事業者(3社)との協議中間報告 2. (株)アジア著作権協会との協議 3. 音事協・音制連との協議経過 	<ul style="list-style-type: none"> • 6月20日カラオケ部会
7月10日 (1:30~3:30)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽モバイルコンテンツ事業者協議会(AMCP)発足について 2. Eライセンスの個別管理代行業務 3. ストリーム使用料の3管理事業者との協議報告 4. アジア著作権協会との面談報告 	<ul style="list-style-type: none"> • 7月9日カラオケ部会 アジア著作権協会との面談 • 7月17日AMCP 設立説明会と総会開催(東京ビッグサイト会議棟)
9月11日 (1:30~3:30)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8月27日JASRACとの協議会報告(呼びメロ、目覚ましセット、着ムービー等) 2. ストリーム使用料の3管理事業者とJASRACとの協議報告 3. ソフト規格部会:デジタル・ミュージック・ノートイションWG(DMN WG)の発足について 4. ブロードバンドコンテンツ利用者団体協議会の発足について 	<ul style="list-style-type: none"> • 8月5日カラオケ部会(ダイキサウンドとの契約問題)
10月9日 (1:30~3:00)	<ol style="list-style-type: none"> 1. インタラクティブ配信のシンクロについてJASRACの見解 2. DMN WGの報告(9月11日) 3. AMCPの概況報告 	<ul style="list-style-type: none"> • 10月16日カラオケ部会(アジア著作権協会問題)
11月6日 (1:30~3:00)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月27日のJASRACとの協議会報告(呼びメロ他) 2. 着メロ使用料体系の矛盾、改定申込を(7.7%か5円の高い方) 3. 映像コンテンツにおける基本使用料に関するJASRACとの協議 	<ul style="list-style-type: none"> • 11月20日カラオケ部会(アジア著作権協会問題) • 11月28日アジア著作権協会との協議
12月11日 (3:30~5:00)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 着信メロディ使用料に矛盾が出てきている是正を求める。 2. その他JASRACとの協議事項 3. アジア著作権協会との協議進行状況 4. DMN WGとJASRACとの意見交換会報告 	<ul style="list-style-type: none"> • 忘年懇親会 70名の参加
1月8日 (1:30~2:30)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 懸案事項の今後について(映像を伴う音楽著作権等) 	
2月12日 (1:30~3:00)	<ol style="list-style-type: none"> 1. JASRACとの2月10日協議の報告(着メロ使用料の矛盾是正、インタラクティブ音楽配信基本仕様料、ストリーミング使用料) 2. JRCの仕様料規程の改定申込 3. アジア著作権協会の一方的AMEIとの協議中止申込について 4. 業務用通信カラオケ使用料規程改定のJASRACへの申込 	<ul style="list-style-type: none"> • 2月6日カラオケ部会(アジア著作権協会問題)
3月11日	<ol style="list-style-type: none"> 1. JASRACの他管理事業者分ストリーミング支払分の減額処理について 2. JASRACとの着信メロディ使用料の本質是正についての交渉経過説明 	

(7) 透かし推進プロジェクト

1. 合計9回のPJミーティング(内2回はMMAとのミーティング5月、10月)を開催
現在契約会員9社
 - MIDIsign エンコーダーの技術サポート (ISMC 契約会社へのサポート)
 - MIDI 規格データへの MIDIsign 埋込手法の検討
 - MMA との米国展開について協議、ISMC 規格書、説明書の英訳に本格的取組み開始。

(8) デジタルコンテンツ推進委員会

1. 今後のマルチメディア推進委員会の活動方向について幹事会にて検討(4回の幹事会を開催)
 - 多くのセミナー案が出たが、開催には至らなかった。

(9) デジタル・レコーディング委員会

1. 「デジタル・レコーディングに関わるメーカー間の技術的連携をとり、その活動成果の積極的活用を行うと共に必要情報をユーザーへ告知する事を目的とした。」
(3回の委員会を開催)
 - 「これで解った! デジタルレコーディング」の改定作業
5年前に AMEI 監修で発刊の専門書、デジタル接続時の注意点や、機器や PC レコーディングの現状に合致した内容に著者(古山先生)を迎え大幅な改定作業に取り掛かった。現在 80%ほど完成。
書籍と共にホームページでの公開も検討中。
 - JSPA との連携
ミーティングに JSPA 会員が加わり、プロの制作現場からの問題点指摘をもらい有益な検討ができるようになった。2004年1月に JSPA 主催の CD-R ライティング研究会に参加。

(10) MIDI 認定制度研究委員会

1. 第6回3級検定試験・第5回2級筆記試験を実施
 - 平成15年12月7日、北は旭川から南は熊本まで全国80会場(内、島村楽器38会場)にて実施
 - 3級1,965名(前年比105%)、2級470名(前年比120%)の応募、合計2,435名。(昨年2,262名 108%)
 - 合格者、3級1,460名(74.3%)、2級筆記292名(62.1%)
2. 第5回MIDI検定2級実技試験を実施。
 - 平成16年2月14日~2月29日までに東京(アップルコンピュータ・セミナールーム、渋谷 FORUM 8)大阪(マイドームおおさか)にて実施、受験者387名

3. MIDI 検定 4 級指導者セミナーの実施（東京,大阪） 4 月・7 月
 - 15 年度 72 名（昨年と合計 152 名）の個人の認定 4 級指導講師が誕生し、個人教室が展開された。
 - MIDI 検定 4 級（入門教育）受験者が約 1,000 名強あった。
4. 中国、中音会社と提携契約
 - 3 級ガイドブック（3,000 冊） 4 級ガイドブック（3,000 冊）の中国語版を 4 月末に出版。
 - 2004 年 9 月を目標に MIDI 検定試験をスタートする計画
 - 2003 年 8 月 中華人民共和国 蘭州の西北師範大学で開催された中国音楽教育学会「数値化音楽研究会」に委員長（大浜氏） 副委員長（氏家氏）が出席し、日本における MIDI 検定試験の状況を講演した。
5. midilicense.com(MIDI 検定受験者、ライセンサーのためのホームページ)の運営
 - 誌上セミナー、座談会、音楽ニュース、求人広告（アルバイト含む）試験案内、等々
6. 4 級ガイドブック（ミュージックメディア入門）の改訂版作成、16 年 4 月より発売。

MIDI 検定合格者数推移と合格率

		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	15年度までの累計	
3 級試験	実施日	第1回 H11.1.17	第2回 H12.1.23	第3回 H13.1.28	第4回 H13.12.16	第5回 H14.12.08	第6回 H15.12.07	13,691	
	受験者数	2,964	2,737	2,145	2,009	1,871	1,965		
	(内学校)	1,275	1,591	866	1,040	904	979		6,655
	合格者数	2,413	1,543	1,536	1,411	1,342	1,460		9,705
	合格率%	81.4%	56.4%	71.6%	70.2%	71.7%	74.3%		70.9%
2 級 1 次試験	実施日		第1回 H12.5.28	第2回 H13.3.13	第3回 H13.12.16	第4回 H14.12.08	第5回 H15.12.07	3,021	
	受験者数		979	594	587	391	470		
	合格者数		350	240	290	228	292		1,400
	合格率		35.8%	40.4%	49.4%	58.3%	62.1%		46.3%
2 級 2 次試験	実施日		第1回 H12.7.11	第2回 H13.3.13	第3回 H14.2.09	第4回 H15.2.08	第5回 H16.2.14	1,805	
	受験者数		328	295	404	391	387		
	合格者数		127	64	21	171	37		420
	合格率		38.7%	21.7%	5.2%	43.7%	9.6%		23.3%

(11) 事業委員会

1. 5回の幹事会を開催した。(4/25、6/5、7/22、8/29、10/2)
2回のアップル社との打合せ、1回のAMEIブース出展社会議(6/26)を開催した。
2. 10月23日より26日の楽器フェア(場所:横浜パシフィコ)にて「Macintosh MIDI & Audio Solution」と「MIDI Museum」の2つのテーマでAMEIブース内に12小間を出展した。
 - 「Macintosh MIDI & Audio Solution」はアップルコンピュータ社の協賛を得、シーケンスソフト販売会社9社の出展による最新のDTMソフトの展示、又デモコーナーを設けてデモを実施した。
 - 「MIDI Museum」においては往年の電子楽器名器を陳列、JSPAメンバーによるトークライブを実施、多くのファンを魅了した。
 - MIDI規格誕生20年記念の「MIDI User's Handbook」(MIDI規格委員会作成)をAMEIブース他電子楽器メーカーのブースで配布し、啓蒙普及活動を行った。
 - 収支¥ 3,349,587(予算は¥ 3,100,000)であった。
 - 楽器フェアは4日間、計92,347名(昨年96,897名)の観客動員があり盛況であった。

(12) 広報委員会

1. 8回の広報委員会を実施した。
 - AMEI NEWSの発行
Vol.21(4月) Vol.22(12月)とMIDI規格誕生20年記念特別号(7月)を発刊
 - MIDI20年記念ロゴマークを会員から募集し、多数応募の中から、下記ロゴに決定。年間を通じて活用した。



- AMEIホームページをリニューアルした。